

群馬歴史資料継承ネットワーク(ぐんま史料ネット)は2020年(令和2)7月に設立され、群馬県および近接地域で活動しています。災害に直面した経験から、歴史資料を守るために発足したのではなく、いわゆる「予防ネット」として誕生しました。

○ネットワークの拡充

- ・WEB版ぐんま史料ネット 通信『DARUMA』
- ・HPの整備と運用
- ・SNSの活用



○文化財シェルター

- ・資料保全セミナーの企画

○資料所在調査

- ・中之条町赤岩文書調査
- ・未調査資料情報の収集



①情報プラットフォームの整備

「予防ネット」の確立

ぐんま 史料ネット の挑戦

②非常時想定活動

に向けた4つの活動

③調査研究活動

○地域資料防災の総合的研究 (群馬県立女子大学との連携)

- ・『ぐんま地域文化遺産 フォーラム 2023 記録集』
- ・『群馬学研究 KURUMA』
- ・ぐんま地域文化遺産 フォーラムの企画



○大字誌活動

- ・大字誌プロジェクトの実施(東上野ベースを発足)
- ・『大字誌 角淵』の活用

ホームページ
にて会員限定で
全文公開中!



最近の動向

○文化財シェルターの三者協定締結

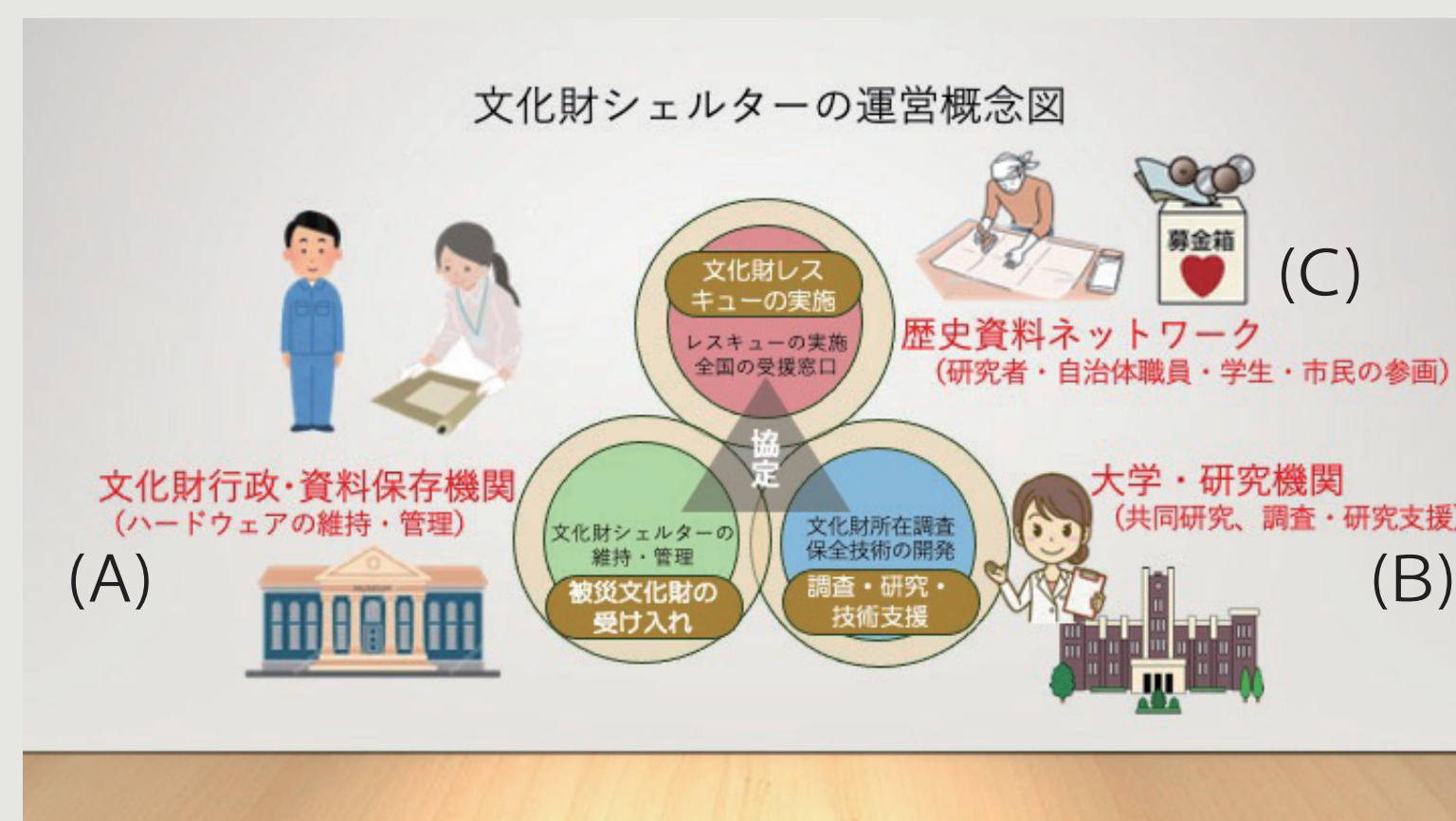
文化財シェルターを整備・運営していくための協定を、(A) 玉村町、(B) 群馬県立女子大、(C) ぐんま史料ネットの三者で締結しました。

○群馬県文化財防災ネットワーク連携協議会への参画

群馬県が組織する文化財防災ネットワークに加盟。
本ネット代表が、協議会の会長を務めています。

○地域資料防災の総合的研究

- ・群馬県立女子大学主催 群馬学連続シンポジウム 第47回 シリーズ群馬の災害文化Ⅲ 「災害史を“する”人々—異分野交流と市民参加—」



【団体情報】

事務局：群馬県佐波郡玉村町上之手 1395-1
群馬県立女子大学 群馬学センター 築瀬大輔研究室
現会員数：219人(2025年9月)
入会方法：入会金・会費無料
入会フォームより申込み

